

## ワークショップの位置づけと検討内容

### 《管理運営ワークショップの位置づけ（前提条件）》

- 駅前複合施設の利用の仕方について、意見・提案を出し合う場  
→建物のハード面（施設機能等）やコンセプトは話し合いません
- 市が考えた基本的な方針案に対し、利用者の立場からの提案を考える場  
→良い悪いの判断をするのではなく、より良い活用のためのアイデアを出しましょう
- 限られた時間の中で、多くの人の意見を交換・共有する場  
→それぞれの立場を尊重し、テーマに沿った意見交換を行いましょ  
(※資料等に対する質問や意見については個別に伺います)

### ■ 骨太の方針

- ① 管理運営形態  
開館時の管理運営形態は『直営』とし、社会情勢等の変化に応じて最適な形態を検討
- ② 市民参画システムの構築  
市民参画による運営のための市民と施設管理者が連携できる仕組みの構築

### 【ワークショップのテーマ案】

第1回  
・ワークショップ  
「複合施設でいたいこと」

第2回  
・ワークショップ  
「あったらいいな！  
こんなサービス、こんな事業」

第3回  
・管理運営に関する講演会（予定）  
・ワークショップ  
「サービスの“5W2H”を考えよう！」  
(What, Where, When, Who, Why, How, How much)  
(何を、どこで、いつ、誰、なぜ、どうやって、いくらで)  
「伝えていきたい！施設の情報」(仮)

第4回  
・管理運営に関する講演会（予定）  
・ワークショップ  
「どう考える!?  
施設の利用と市民参画」(仮)

第5回  
・ワークショップ  
「管理運営方針（案）の発表と検討」

### ■ 管理運営方針の構成案と検討内容

項目	検討内容		
	ワークショップ	策定委員会	
個別方針	1. 管理運営体制	・市民参画について（ボランティアなど）	管理運営体制、庁内組織、市民参画、専門家等
	2. 事業計画	・施設で行う事業の立案・実施方針や内容 →日常的な機能（業務）、催し・講座・教室など	同左
	3. 情報発信	・情報発信の方針や手法 →活用する媒体、発信する内容、時期、発信者など	同左
	4. 施設管理	・施設管理の方針（他施設との比較検討） →駐車場等の利用規則、開館・閉館時間など	同左
	5. 経営計画	-	収支の想定、維持管理等
その他計画	1. 備品計画	-	各機能に必要な備品と数量等
	2. 情報通信技術関連システム	・情報通信による利用者サービスに関すること →インターネット環境など	庁舎系ネットワーク、図書館関連システム等
	3. サービス計画	・各施設が提供するサービス →場所の提供、人の提供、利便性の提供、効率性の提供など	同左
	4. ビル管理計画	-	施設・設備の維持管理等
	5. 危機管理計画	-	防災・防犯や災害時の対応、情報セキュリティー等
	6. アクセス計画	-	施設周辺の交通計画、バスやJRとの連携等
	7. スタッフ等に関する計画	-	各機能の人員配置等

専門委員会等

各機能等に関連の深い管理者、利用団体、専門家等から意見・アドバイスを受ける

※開催回数等は、状況によって変更する場合があります